

活動名		団体名	クローバーの会(発達障がい児を持つ親の会)
体験しながら学ぶ、ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)活動		地域	広島県広島市
		代表者	代表 村主 裕子
		支援金額	25万円
活動概要	<p>1. 子どもたちが豊かな人生を送れるように、社会的コミュニケーションの基本的スキルの体験学習を通じて、対人関係スキルの向上、問題解決力の醸造を図る。</p> <p>2. 仲間と一緒に活動することで、自分と他者との違いを肯定的に認める自他理解の深化を促す。また自他の関係性を肯定的に意味づける力を育てる。</p> <p>3. 活動を通して得られた成果を検証し、子どもたちへの生活支援をより効果的に行う方法についてまとめ、情報を発信する。発達障がいに対する適切な支援の拡大に貢献する。</p> <p>◆実施時期 時期：2015年2月～2016年2月 場所：広島市中区社会福祉センター、広島市男女共同参画センターゆいぽーと、子どもコミュニティネットひろしま事務所</p> <p>◆参加人数 小学生20名、中学生8名、講師・スタッフ8名（延べ22名）</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:50名</p>		



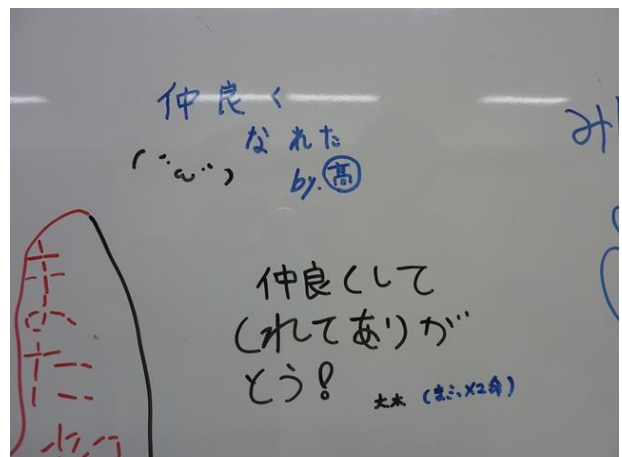
低学年グループ



高学年グループ



中高生グループ



感想

◆実施に伴う効果

参加した子どもの対人スキルに対する自己評価をもとに、活動成果の検証を行った。

- ・中高校生グループでは「頼むスキル」「会話のスキル」について有意義な変化が認められた。
- ・小学校高学年グループについては、「自分と考えが違って受け入れることができる」「会話が続けられる」「話や遊びに入ることができる」について、有意義な変化が認められた。
- ・小学校低学年・未就学児グループでは、ルールを守って仲良く遊ぶことのできる子どもが増えた。

◆苦勞した点

ボランティアスタッフの確保に苦勞した。ボランティアスタッフに保護者も加わることで人員を確保した。講師代を低く抑えることで予算内で運営するよう努力をした。

◆今後の課題・発展の方向性

本活動は本年度初めて実施したもので、実施時期や活動内容など検討する余地がある。参加した子どもたちは今回の体験や自信の努力が成果となって表れたことで継続的な活動を望んでくれている。そのためには活動場所や運営スタッフ、活動資金の確保など、人・物両面での準備が課題である。

当初の目的にあげていた「活動を通して得られた成果を検証し、子どもたちへの生活支援をより効果的に行う方法についてまとめ、情報を発信する。発達障がいに対する適切な支援の拡大に貢献する」については、次年度への継続課題となった。

2016年度はクローバーの会として、発達障がい児を持つ親向けの学習会を開催する予定。

今年度の SST 活動を通じて得られた成果を元に、親子間のコミュニケーションを円滑にはかる方法を学ぶ機会にしたい。将来的には学校関係者にも情報を発信し、発達障がい児への理解を広めたい。

◆活動を終えての感想・意見等

マツダ財団から助成金を頂いたことで、会としては長年の念願であった SST を開講することができました。運営に携わった保護者としても今後につながる体験やノウハウを得ることができ、会全体にとって非常に有意義な活動となりました。ありがとうございました。